

レポートを進めるための「ここが大事！」

◎学習書もレポート内容の解説が載っています。教科書&学習書を一通り読んでからレポートに取りかかりましょう。

報告課題⑩

●「折々のうた」大岡 信（おおおか まこと） 【学習書P二四九〜二六〇】

○俳句・短歌鑑賞のポイント

◎感動の中心を考える。

切れ字（詠嘆）句切れなしの普通文にしてもよい。

◎上の句と下の句の関係性

上の句（情景・自然）が下の句（心情）を導く。

◎作品の時代背景を知る。

作者の生きた時代を踏まえる。

『マッチ擦るつかのま海に霧ふかし身捨つるほどの祖国はありや』寺山修司
上の句「マッチ擦るつかのま海に霧ふかし」（情景）が下の句「身捨つるほどの祖国はありや」（心情）を導き出している。
つまり、深い霧の情景から、自分の身を捨てるほどの祖国があるのかという国家と個人との関係性についての思いが重ねられたということ。

『人も 馬も 道ゆきつかれ死にけり。旅寝かさなるほどのかそけさ』釈超空
表現技法 「分かち書き」「句点」の効果について。

「分かち書き」は、言葉の区切りで空白を入れる書き方のこと。

生きとし生けるものすべての死に思いをさせ、また旅寝を重ねる自分の魂も同化させていく作者の息づかいが表されている。

『未婚の吾の夫のに^{われ}あらずや海に向き白き墓碑ありて薄日あたれる 富小路禎子^{とみこうじよしこ}』

上の句「未婚の吾の夫にあらずや」下の句「海に向き白き墓碑ありて薄日あたれる」

「未婚の吾の夫の」の後には、「白き墓碑」が省略されている。

鎮魂歌としてこの句を考えると・・・①②をヒントに選択肢を選ぶ。

① 作者は戦中作家である ② 戦争によって多くの人が戦場で命を落とした

④ 「吾」と「夫」の共通点

「吾」は、女性ゆえに銃後にあって、戦中の苛酷な現実にも耐え、戦後の混乱の中を嫁ぐこともなく、一人で生きてきた。「夫」は、戦中、国のためにということで、自分の人生を犠牲にし、一人寂しく海に散った。ともに、戦中世代、孤独という共通点をもつ。

『木に花咲き君わが妻とならむ日の四月なかなか遠くもあるかな』前田夕暮まえただゆうぐれ

作者の感動は「かな」のある下の句「なかなか遠くもあるかな」

・・・私の妻となる日、つまり結婚する四月が、かえって待ち遠しくあるものだなあ。